

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すがたの森		公表日		令和7年 2月 26日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
				1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○					
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		新設時に配慮			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、児童の保育の中に掃除を組み込んでいる。生活の上で、清潔維持できるような環境に配慮。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの特性や状況に応じて、個室を使用できるようになっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	○		業務改善を月1回の職員会議での議題に入れ場かなこども職員間で言い合えるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回実施		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議、朝礼、療育前打合せの実施		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回の研修を実施		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援内容、計画は見やすい場所へ設置し誰でも閲覧できる		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	○		モニタリング、カンファレンスにて保護者の意見や関係機関の意見を聞き、計画の作成を行っている。		
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成の際には、職員で検討会議を行っている。		
	14	放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容は情報共有、具体的な支援方法を職員同士で決定している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のらわら及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援、家族支援はもちろんだが、移行支援、地域支援(連携)は本人または家族の希望に添いながら目標を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは職員間で話し合いをして決めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員での担当などを決め実施。飽きやマンネリにならないように配慮		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動は利用児童の興味があることと併せて組み込み、集団活動は生活の上で将来困らないように支援する項目を組み込んでいる。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		子どもの来所前に必ずミーティングを行い、その日の支援内容や方法を確認している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		支援終了後に打ち合わせをする時間がないことがある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の子どもの様子や変わったこと、成長した点、どのように支援を行ったか等を毎日記入している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		計画に組み込んでいる		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		おやつや選択、個別活動では自主選択し完了できるように支援している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		児童発達支援管理責任者、主の指導員などが参加している。		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		窓口担当の職員を決めている。情報は一度その職員で集約し職員間へ情報共有している。		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		全職員ができるようにマニュアル、流れを整備している。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行支援会議への参加。また関係機関より可能な限り情報をいただく。		
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報提供書を作成		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		長期休暇には、他事業所と合同でイベントを実施している。		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な限り参加している。		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳でその日の子どもの様子や成長をお伝えしている。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ご家族も参加する研修を企画する。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お話し利用の実施。事前に児童本人、家族さんの意向を伺う機会を設けている。また相談員さんからも意向を聴取する。		
	38	「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	○		電話相談、送迎時での相談、連絡帳でのやり取りを実施。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ご家族参加型のイベントを企画する。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談マニュアルを設置		
	42	定期的に通信等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりで子どもの姿や活動の様子を定期的に発信している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		文章での案内のほか視覚的要素からの選択ができる等配慮(貼り付け、掲示、素材)		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	○		近隣施設からの随時見学の受け入れ職場体験の実施。		
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルに合わせた研修、訓練を実施。安全計画に組み込んでいる。		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震、火災、豪雨などの避難訓練を定期的に行っている。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○		アセスメントシートに記載		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントシートに記載		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		子どもたちが来所する前に毎日安全点検を行っている。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		閲覧可能な場所へ設置している。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハットがあった際には、職員間で共有・検討し、事故防止に努めている。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止指針、マニュアルの運用、研修の実施。		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	○		身体拘束防止の指針、マニュアルの運用、研修の実施。		